

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2006-148487(P2006-148487A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-335008(P2004-335008)

【国際特許分類】

H O 4 N 5/225 (2006.01)

H O 4 L 12/28 (2006.01)

H O 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 5/225 F

H O 4 L 12/28 3 0 0 Z

H O 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

端末装置と通信インタフェースを介して接続された通信装置であって、
前記端末装置内の記憶媒体に記憶されている電子情報を通信ネットワーク上の外部装置に転送するために、前記通信インタフェースを介して前記電子情報を読み出す読み出し手段と、

前記端末装置内の記憶媒体への書き込み要求を検出する検出手段と、

前記読み出し手段により前記電子情報を読み出し中に、前記検出手段により書き込み要求を検出した場合、前記電子情報の読み出しを中断し、前記端末装置内の記憶媒体への書き込みが終了した後、前記読み出し手段による前記電子情報の読み出しを再開するように制御する制御手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記端末装置は撮像装置であり、前記電子情報は当該撮像装置で撮影された画像データであることを特徴とする請求項1記載の通信装置。

【請求項3】

前記端末装置内の記憶媒体への書き込み要求は、ユーザによる撮影操作によって発生することを特徴とする請求項2記載の通信装置。

【請求項4】

前記読み出し手段により前記端末装置内の記憶媒体に記憶されている複数の電子情報を読み出し中に、前記検出手段により前記端末装置内の記憶媒体への書き込み要求を検出した場合、読み出しが終了している電子情報を前記外部装置に転送することを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項5】

前記端末装置の無線通信アダプタとして機能することを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記読み出し手段により電子情報を読み出し中は、前記外部装置と通信するための通信部への電力供給を行わず、前記読み出し手段により読み出した電子情報を前記外部装置に転送する際に、前記通信部への電力供給を開始する電力制御手段を更に有することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記読み出し手段による前記電子情報の読み出しを中断している間は、前記外部装置との接続を行わないことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 8】

端末装置と通信インタフェースを介して接続された通信装置の制御方法であって、
前記端末装置内の記憶媒体に記憶されている電子情報を通信ネットワーク上の外部装置に転送するために、前記通信インタフェースを介して前記電子情報を読み出す読み出し工程と、
前記端末装置内の記憶媒体への書き込み要求を検出する検出工程と、
前記読み出し工程において前記電子情報を読み出し中に、前記書き込み要求を検出した場合、前記電子情報の読み出しを中断し、前記端末装置内の記憶媒体への書き込みが終了した後、前記電子情報の読み出しを再開するように制御する制御工程と、
を有することを特徴とする通信装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載の通信装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置及びその制御方法、並びに当該制御方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、通信ネットワーク上の外部装置へ電子情報を転送する通信装置及びその制御方法、並びに当該制御方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムに関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、通信インタフェースを介して接続された端末装置内の記憶媒体に記憶された電子情報を通信ネットワーク上の外部装置に転送する際の課題を解決することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明は、端末装置と通信インタフェースを介して接続された通信装置であって、前記端末装置内の記憶媒体に記憶されている電子情報を通信ネットワーク上の外部装置に転送するために、前記通信インタフェースを介して前記電子情報を読み出す読み出し手段と、前記端末装置内の記憶媒体への書き込み要求を検出する検出手段と、前記読み出し手段により前記電子情報を読み出し中に、前記検出手段により書き込み要求を検出した場合、前記電子情報の読み出しを中断し、前記端末装置内の記憶媒体への書き込みが終了した後、前記読み出し手段による前記電子情報の読み出しを再開するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、本発明は、端末装置と通信インタフェースを介して接続された通信装置の制御方法であって、前記端末装置内の記憶媒体に記憶されている電子情報を通信ネットワーク上の外部装置に転送するために、前記通信インタフェースを介して前記電子情報を読み出す読み出し工程と、前記端末装置内の記憶媒体への書き込み要求を検出する検出工程と、前記読み出し工程において前記電子情報を読み出し中に、前記書き込み要求を検出した場合、前記電子情報の読み出しを中断し、前記端末装置内の記憶媒体への書き込みが終了した後、前記電子情報の読み出しを再開するように制御する制御工程とを有することを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明によれば、通信ネットワーク上の外部装置に転送するための電子情報を記憶媒体から読み出し中に、記憶媒体への書き込み要求が発生した場合、書き込み処理を優先して実行させることができる。